

Blue Bottle Coffee  
オリジナルカップ&ソーサーが  
3月7日より青山店で販売開始



株式会社キントー（本社：滋賀県彦根市）は、Blue Bottle Coffee のオリジナルカップ&ソーサーを開発いたしました。店内で使われているこのカップ&ソーサーは、多くのお客様の声をうけて青山店のオープンと同時に物販が開始となります。エスプレッソ、カプチーノ、カフェラテ用の3サイズ展開。自宅でお気に入りのカップとして使うことはもちろん、贈り物にも喜ばれます。

商品名/価格：エスプレッソセット 2,000 円（税込）  
カプチーノセット 2,200 円（税込）  
ラテセット 2,500 円（税込）

素材：磁器（日本製）

販売元：ブルーボトルコーヒージャパン合同会社

製造元：株式会社キントー



Blue Bottle Coffee は、その土地それぞれのいいものをビジネスに取り入れていく、ローカルソースにこだわるというスタンス。日本出店を機に取り組んだことのひとつが、カップ&ソーサーを日本で作るということでした。そこで KINTO のドリンクウェア TOPO をベースにこの商品のデザイナーである安積伸氏が、デザインを再構築しました。一見すると一般的な白いカップ&ソーサーですが、カップを持ち上げて初めてソーサーのブルーのロゴに気づくという仕掛けは、「お店はコーヒーを楽しむ空間で、それ以外の要素をできる限り排除する」というジェームス・フリーマン氏の考えから生まれたアイデアです。

## MESSAGE

以前より「コーヒー文化第三の波 (Third Wave)」という話は聞き及んでおり、地域や独自性を大切にしたいという姿勢に共感を持っていました。そもそも TOPO をデザインする際に「独自の美意識を持ったカフェのオーナー」に共感してもらえるものがデザインできればと考えていたので、この話を聞いたときはまさに、「伝えなかった人に伝わった」ということで、大きな感慨をもちました。

デザインをする上で意識したのは、いかに TOPO の柔らかくあたたかみのある形状を残しつつ、カフェのシーンでの使い勝手を高めるかという点でした。多くの方が訪れて毎日のように使われるカップとソーサーは、ラテアートに適したかたちで持ち運びしやすいもの、そして、お客様がカップを持った時には心地良い、そういった使い勝手に配慮しながら作られたものです。これから店頭での販売も始まり、より多くの方に使っていただける機会が増えることを大変嬉しく思います。



デザイナー  
安積伸 Shin Azumi

FX 国際インテリアデザイン賞「プロダクトオブザイヤー」(他)、100% ブループリントデザイン賞、グッドデザイン賞など国内外で多数の賞を受賞し、審査員としてもドイツ IF デザイン賞などに参加。

## ABOUT KINTO

1972 年滋賀県彦根市に設立。自社オリジナルの商品を開発し、2013 年 1 月には手仕事を感じる器をコンセプトに新ブランド「atelier tete」を、2014 年 7 月にはハンドドリップで淹れるスローな時間をコンセプトに「SLOW COFFEE STYLE」を立ち上げました。近年では、国内のみならずヨーロッパ、アジア、北欧、アメリカなど海外へも展開しています。日々使うものだからこそ心地よいと感じる使い易さにこだわり、時代を超えて長く愛されるものづくりを目指しています。 <http://www.kinto.co.jp/>